

# 第70回記念 福島県身体障がい者福祉大会受賞者名簿

(敬称略)

## 《福島県知事感謝》(9名)

桑折町	大橋順明	猪苗代町	鈴木義二
二本松市	村松市夫	喜多方市	安部信夫
鏡石町	面川平六	飯舘村	佐藤信義
平田村	野崎保	相馬市	佐原英夫
矢祭町	金澤正樹		

## 《福島県身体障がい者福祉協会会長表彰・感謝》

### ◆自立更生者表彰(12名)

桑折町	穴戸ヒデ子	石川町	江尻ヨシ子
川俣町	佐藤ミチ子	浅川町	川音チヨ
二本松市	本田昌平	棚倉町	小針文子
二本松市	村松市夫	喜多方市	上北康二
本宮市	安齋盛男	新地町	佐々木力
田村市	管野公治	相馬市	松崎充枝

◆更生援護功勞者表彰 (11名)

桑折町	松田	茂	矢祭町	鈴木	常二
二本松市	所	政美	磐梯町	遠藤	眞佐子
二本松市	野地	信弘	喜多方市	東重	重光
本宮市	国分	キン子	南相馬市	横山	泰啓
玉川村	小針	トミヨ	飯舘村	坂本	榮壽
古殿町	荒川	一寿			

◆加盟団体運営協力者感謝 (11名)

二本松市	安齋	武宏	塙町	益子	武雄
二本松市	佐藤	健次	喜多方市	長沢	喜人
本宮市	川名	清一	南相馬市	佐々木	文雄
田村市	小山	キミ子	南相馬市	古小高	孝夫
古殿町	生田目	芳男	新地町	泉田	清一
古殿町	藁谷	菊雄			

# 大会スローガン

- ◎ 心のバリアフリーを社会に根づかせよう
- ◎ 障害者差別解消法及び県条例の理解をさらに深め  
一層の啓発を図ろう
- ◎ 被災障がい者のおもいに添った支援を継続しよう

# 大会宣言

菊薫る歴史と文化が調和したまち、ほんとの空があるとうたわれたここ二本松市において、コロナ禍のなか、県内各地から多くの仲間と関係者が一堂に会し、第70回記念福島県身体障がい者福祉大会を開催できたことは、まことに喜びに堪えない。

本大会に寄せられた各関係機関、団体及び二本松市をはじめ広く県民の方々のご支援とご協力に対し、改めて深く感謝の意を表したい。

昨年、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催された。この大会を契機として、障がい理解が一層促進されてきており、レガシーとしての共生社会の実現を目指し、多くの当事者団体と協力・連携しながら、「心のバリアフリー」と「ユニバーサルデザインの街づくり」の推進に継続して取り組んでいくことが重要である。

また、障害者差別解消法の一部を改正する法律が令和3年6月に公布され、一日も早い施行が望まれている中、「障がいのある人もない人も共に暮らしやすい福島県づくり条例」が施行されてから3年余りが経過しており、県民理解のもと、差別解消に向けた取り組みが一層推進されるとともに、県内各市町村の実情に即した「障がい者差別禁止条例」の制定を求める。

さらに、東日本大震災により長期避難生活を送られている県内外の障がい者への支援活動を引き続き展開していくとともに、頻発している災害時における被災障がい者支援の充実を求める。

県内の障がい者一人ひとりが、「私たちのことを、私たち抜きに決めないで」とする障害者権利条約の精神にのっとり、自立への誇りと社会参加への意欲を強く持ち、福島県身体障がい者福祉協会のもとに一致団結し、ともに生き・ともに助けあう明るい社会の実現のため、力強く行動することを誓い、ここに宣言する。

令和4年10月26日

第70回記念福島県身体障がい者福祉大会

# 大会決議

身体障がい者の自立と社会参加を促進し、「完全参加と平等」の実現を図るとともに被災加盟団体の再建及び被災障がい者の支援に万全を期するため、第70回記念福島県身体障がい者福祉大会の開催に当たり、参加者総意のもとに次の事項を決議し、その実現に努める。

## 要望事項

- 1 障がい理解の活動を拡げ地域共生社会の実現に取り組むことを要望する。
- 2 地域に根ざした心のバリアフリーの推進を図ることを要望する。
- 3 障がい者差別をなくすための条例を県内各市町村で制定することを要望する。
- 4 地域の相談支援体制に身体障がい者相談員を活用させることを要望する。
- 5 被災加盟団体の再建への支援並びに災害時における被災障がい者支援の充実を図ることを要望する。

## 努力事項

- 1 すべての身体障がい者が当協会に加入するよう促すとともに、各加盟団体において活性化の方策を具現化し、会員相互の親睦を図りつつ、組織及び財政基盤の拡充に努力する。
- 2 身体障がい者みずからが社会の構成員としての自覚を持ち、持てる能力を十分活用し、共生社会の実現に向けて努力する。

以上決議する。

令和4年10月26日

第70回記念福島県身体障がい者福祉大会